

親子で学ぶ、命を守る防災体験！ 「稲むらの火の館」現地体験ツアー

2026年

日時 10月18日(日)

【受付】13:10～【開始】13:40～

場所 稲むらの火の館
(和歌山県有田郡広川町広671)

対象 親子(保護者と小学生の子ども)

定員 親子20組(40名まで)

参加費
無料

事前申込制

ご参加の
親子1組につき、
非常食1箱を
プレゼント!



プログラム(予定)

●13:40 オリエンテーション

●14:00 館内学習

① 映画「その日 命を守るために」
「ドラマ 稲むらの火」

3D津波映像シアターにて

② 講演「濱口梧陵について」「災害から身を守るために」
稲むらの火の館 館長 雑賀 聡(さいか さとし)氏

●15:00 フィールドワーク(専門ガイド案内付)

広村堤防・耐久社・濱口梧陵銅像を見学
※雨天時はフィールドワークを中止します。

●15:40 終わりの会

●16:00 解散

解散後、希望者は館内を自由に見学できます。



参加
待ってるよ!

地震保険広報キャラクター
「なまべえ」



主催 一般社団法人日本損害保険協会近畿支部和歌山損保会
後援 和歌山県、広川町



フィールドワークのご案内



稲むらの火の館

梧陵の功績や「稲むらの火」の物語、津波防災の歩みなどを紹介する施設です。
梧陵の生家である濱口梧陵記念館と津波災害から大切な命や暮らしを守ることを学べる津波防災教育センターがあります。



広村堤防

安政南海地震の後、梧陵が私財を投じて建設した高さ5m、幅20m、長さ600mの堤防です。
昭和南海地震の津波から住民を守りました。
被災住民を雇用して建設されたため、まちの復興にも貢献しました。



耐久社

梧陵らが開いた稽古場で、剣術や国学などが教えられていました。
永く続くことを願い、「耐久社」と名付けられました。
梧陵の没後も教育への熱意は受け継がれ、現在の町立耐久中学校、県立耐久高等学校へとつながっています。



濱口梧陵銅像

梧陵の功績をたたえ、昭和42年に建立された銅像です。
生誕100年にあたる大正9年に旧和歌山県会議事堂前に建立された銅像は、戦時中に供出されたため、町民の寄付金などによって再建されました。

申込方法

下記二次元コードから申込フォームにアクセスし、必要事項をご登録ください。



<https://forms.cloud.microsoft/r/WeE7RGt97r>

- メールやお電話でのお申し込みはできません。
 - 応募者多数の場合は、抽選となります。
 - ご参加いただける方には、10月9日(金)までに参加案内のメールをお送りします。
- ※ご連絡いただいた個人情報につきましては、ツアー運営の目的以外に使用することはありません。
※当日はメディアの取材等によって、イベントの様子を写真並びに動画撮影する場合があります。
※就学前のお子さまのご参加はお控えください。

申込締切／10月1日(木)